

# そこが知りたい! LINEの活用ワザ

## 第2回

### 「グループ」機能を使いこなす

「グループ」機能を使えば、複数人でのトークがより便利になる。具体的な使い方と活用方法を紹介しよう。

文：岡本 ゆかり

LINEでは、1対1の「トーク」(メッセージ送信)だけでなく、複数人でのトークが可能だ。それには、トーク画面右上にある新規トークボタンを押して、そのトークに追加したい相手を指定すればよい。

だが、決まったメンバーと頻繁にやり取りするなら、「グループ」機能を使った方がずっと便利だ。複数人でのトークが簡単にできる上、グループ内で写真を共有することもできる。今回は、LINEのグループ機能を便利に使いこなす方法を見てみよう。

### 最初にグループを作成する

まずは、グループを作成しよう。「友だち」画面で「グループ作成」を選び、メンバーを選択する(図1)。メンバーは後から追加できるので、取りあえずはグループでやり取りしたい初期メンバーを選べばよい。グループ名を入力して、アイコン画像を適宜設定する(図2左)。グループを作成すると、選択したメンバーに招待の通知が届く。相手が「参加」をタップすることで、グループに加わることになる(図2右)。なお、1つのグループに参加できる人数の上限は500人だ。

LINEのグループには「オーナー」とい

### ●メンバーを選んで「グループ」を作成



図1 「友だち」一覧画面で「グループ作成」をタップ。グループに招待するメンバーを選択する



図2 グループ名を付ける。グループのアイコン画像が自動的に設定されるが、タップすると、自分の好みの画像に変更できる(左)。招待された相手には、通知が届く。相手が「参加」をタップすると、グループに加わることができる(右)

## ●メンバーの追加や退会は自由にできる



図3 グループのトーク画面右上の矢印をタップして「招待」を選ぶ。自分の友だちをグループに招待できる



図4 退会するにはグループ名を、iPhoneは右から左にスワイプ、Androidは長押し。「退会」をタップする

## ●メンバーを削除すれば強制退会



図5 友だち一覧からグループ名をタップしてグループのトップ画面を開く。メンバー数のボタンをタップして(上)、「編集」を選ぶ(右上)。退会させたいメンバー名をタップして削除する(右)



う概念がないため、作成した人だけがグループを管理できるのではなく、参加メンバーは誰でも同じ権限を持てる。グループ内のメンバーは、自分の友だちをグループの新規メンバーとして招待できる(図3)。誰が誰を招待したかは、グループのトーク画面に表示されるので全員が把握できる。

好みや方向性の違いなどから、途中でグループから退会したくなる場合も出てくるだろう。その際は、友だち一覧に表示されているグループ名をスワイプして「退会」を選べばよい(図4)。

グループの人数が増えてくると、不適切な発言を繰り返すなど、迷惑なメンバーが出てくる場合もある。そうした際は、メンバーを強制的にグループから退会させることができる(図5)。

## スケジュールを調整できる

グループ内のメンバーで宴会や旅行などのイベントを計画する際、普通なら幹事役が各メンバーのスケジュールを聞いて回らなければならない。LINEには、そうした手間を最小限に抑える機能が備

## ●グループイベントのスケジュールを調整

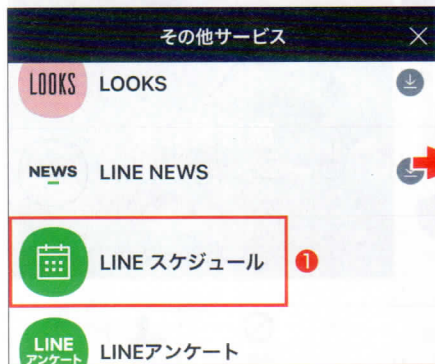


図6 「ウォレット」→「その他サービス」を選び、「LINEスケジュール」を開く。イベントを作成して、候補日を指定。「メンバー招待」をタップする

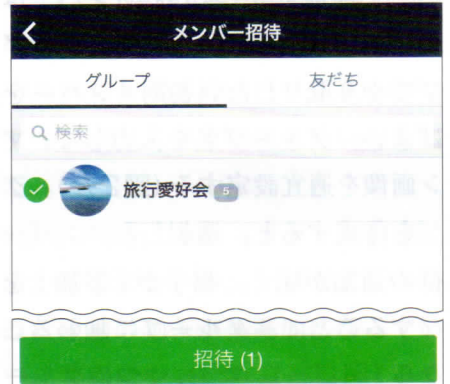
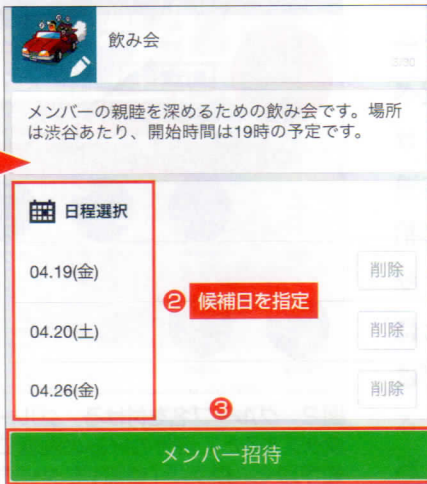


図7 「メンバー招待」画面で該当グループを選択して「招待」を押すと、メンバーにイベントの案内が送信される



わっている。まず複数の日程候補を提示して都合を聞く方法として、「LINEスケジュール」機能が使える(図6)。イベント名、日程の候補を入力してグループ宛てに送信すればよい(図7)。

すると、メンバーに通知が届く。各人が自分の都合を回答すると、即座に集計される(図8)。イベントの開催日時が決まったら、改めて出欠を確認する必要がある。それには、グループ内にある「イベント」機能が使える(図9)。イベントの詳細を入力すると、メンバーに通知が届く。相手が出欠状況を回答すると即座に集計され、誰が出席するかをメンバー全員で共有できる(図10)。

## メンバー間で写真を共有する

グループメンバーとの宴会や旅行の写真を共有する際は、トーク画面に写真を個別に投稿するよりも、「アルバム」機能を使って1つのアルバムにまとめた方が閲覧しやすい。新たにアルバムを作成して、写真をアップロードしよう(図11)。グループ内のメンバーがアルバムに写真を追加することもできる(図12)。

イベントごとに写真をアルバムにまとめておけば、トーク画面から「アルバム」を開いた際、過去のアルバムをいつでも閲覧できる。また、メンバーがアルバムに写真を投稿せず、トーク画面で個別に送信してしまった場合でも、画像を長押しして「アルバムに保存」を選べば、その画像をアルバムに保存できる。

なお、アルバムと似た機能として、「ノート」機能もある。トークで流れていく情報の中から、保存しておきたいものや

## 各メンバーが自分の都合を回答する

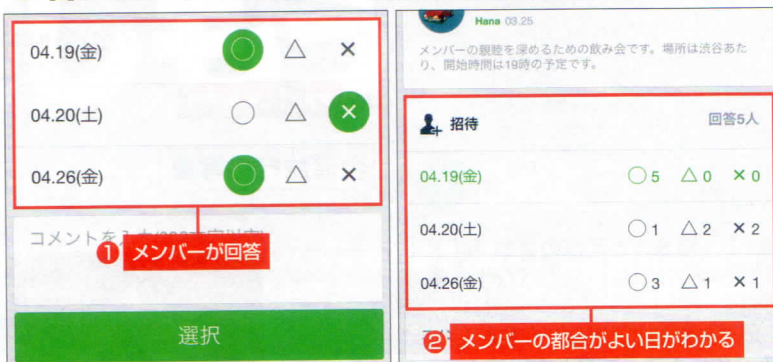


図8 イベントの案内が届いたメンバーが、都合のよい日程を回答する。回答はリアルタイムで集計され、どの日が都合がよいかメンバー全員が確認できる

## イベントの日時を決めて出欠を取る

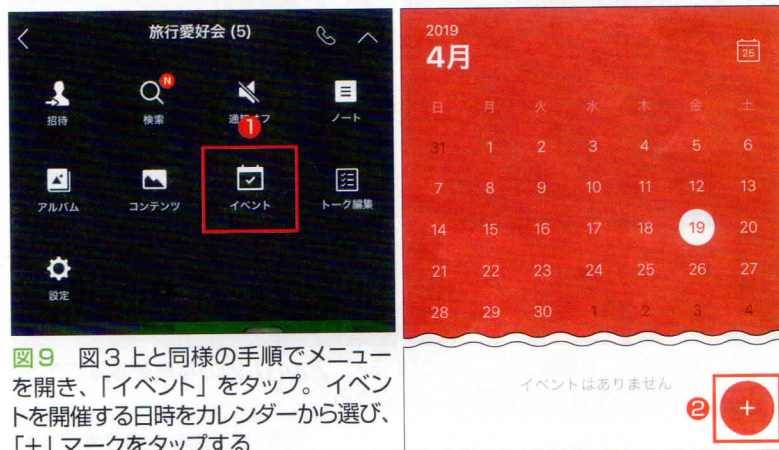


図9 図3上と同様の手順でメニューを開き、「イベント」をタップ。イベントを開催する日時をカレンダーから選び、「+」マークをタップする



図10 イベントの詳細を入力して、日時や場所を指定。すると、メンバーに案内が届く。メンバーが回答すると、リアルタイムで集計され、出欠状況がすぐに分かる

## ● グループの共有アルバムを作成する

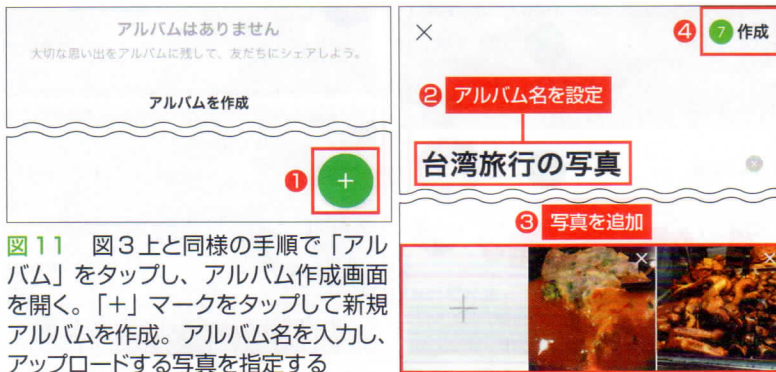


図11 図3上と同様の手順で「アルバム」をタップし、アルバム作成画面を開く。「+」マークをタップして新規アルバムを作成。アルバム名を入力し、アップロードする写真を指定する



図12 メンバーに通知が届く。タップすると、アルバム内の写真を閲覧できる。メンバーは誰でも写真を追加することができる

## ● グループ機能を個人用メモに使う



図13 図1の手順でグループ作成画面を開く。メンバーを誰も招待せず「次へ」を押すと、メンバーが自分のみのグループを作成できる。分かりやすい名前を付けておこう

図14 個人的なメモを投稿したり、スタンプを試したりなど、自由に利用できる

メンバーで共有したいものなどをノートに書き留めておける。

## 1人グループという裏技も

グループ機能の活用方法として、メンバーが自分1人だけのグループを作り、個人用メモの保存先として活用するという裏技もある。図1の手順でグループ作成画面を開いたとき、メンバーを誰も招待しないのがポイントだ(図13)。

作成した自分専用グループは、ほかのグループと同様、友だち一覧画面の「グループ」に表示される。そこから、トークを送信できる。備忘録など個人的なメモの保存に使ったり、スタンプが相手にもどのように表示されるのかを試したりするのに便利だ(図14)。LINEのトークではボイスメッセージを送れるので、ボイスメモ代わりに使うこともできる。ノートやアルバムも作成できるので、自分専用のアルバムを作成してもよい。

友だちとのトークで、保存しておきたいトークや画像をメモ用の自分専用グループに転送するという使い方もできる。投稿を長押しして、「転送」を選び、グループ名を選択すればよい。

実は、友だちとの1対1のトークでもグループトークの場合と同様にアルバムやノート機能を利用することはできる。しかし、トークの内容や写真をノートやアルバムに保存すると、それが相手にも通知される。相手に知られてしまうのが何となく気まずいという場合もあるだろう。1人グループのメモ用アカウントに転送した場合は、相手に通知されないというのもメリットだ。